

阿弥陀寺(小阪)

妙本山 真言宗醍醐派 <本尊> 阿弥陀如来

弘法大氏自作の本尊、法然上人爪彫の名号石を所蔵すると伝えている。

本堂、鐘楼

法然上人がこの地から讃岐へ渡られたとき、島民が別れを惜しんだので、船のともづなを結んであった石に「南無阿弥陀仏」と書き残されたのが、「ともづなの名号石」として保存されている。

